

水分摂取と健康関係は

弘前大学大学院医学研究科とサントリー食品インターナショナル(東京都)は1日、共同研究講座「ウォーターヘルスサイエンス講座」を開設した。弘大を中心に行っている岩木健康増進プロジェクトなどで得られたビッグデータを

弘大とサントリー食品インターナショナル

解析し、水分摂取や水分の体内動態と、健康との関係解明を目指す。設置期間は3年間。

(西尾瑛)

共同研究講座を開設

岩木健康増進プロジェクト データ解析、解明へ



共同研究講座の設置開設式に臨んだ佐藤学長(右から4人目)と西本常務執行役員(同5人目)

1日は、同大医学部で講座の設置開設式が行われ、サントリー食品インターナショナルの常務執行役員・商品開発部長の西本正三氏が「食の欧米化で若者の水分摂取量が減るなど、飲料で水分を取る社会的な重要性は増している。日常での習慣的な水分摂取と健康との

水分が健康に及ぼす役割は詳細が明らかになっていないのが現状。共同研究講座では、岩木健康増進プロジェクトで調べている住民の水分摂取量や体内の水分量の調査結果と他の調査項目との比較などを通じ、科学的な解明を図る。

関係を明らかにする。短命県返上のみならず、重之特任教授は「臨床と多くの方の健康増進に寄与したい」と世界の方々の健康に資するものになる」と期待を込めた。岩木健康増進プロジェクトでは水分に関する測定を増やしていく生かしていきたい」と語った。